

24-22

～安心で、持続可能な社会の実現を目指して～

2024年3月25日



## 東京メトロ線利用による CO<sub>2</sub> 削減貢献量を算定しました！

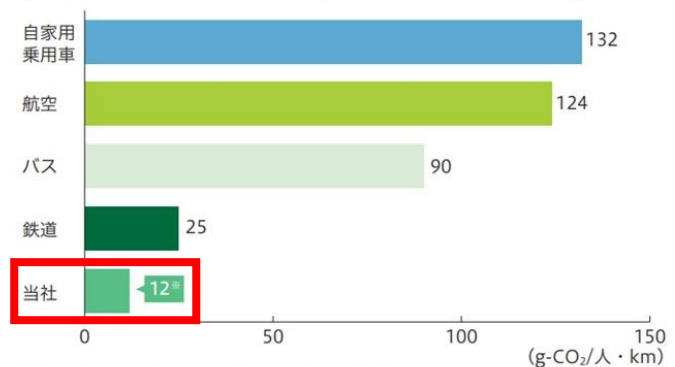
～日々の東京メトロ線のご利用で自動車と比較して年間約 176.9 万t-CO<sub>2</sub> の削減に貢献！カーボンニュートラルの実現につながります！～

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:山村 明義、以下「東京メトロ」)は、東京メトロの鉄道運行を通じて生まれた、社会における環境面でのポジティブインパクト(削減貢献量)を算定<sup>※1</sup>しました。今後、このポジティブインパクトを活用し、鉄道事業の成長を環境課題の解決につなげていきます。

鉄道は、自動車や航空機と比較して、環境に優しい輸送手段とされています。その中でも東京メトロは、50年以上前から省エネ車両の導入、高効率機器類の導入等、環境に優しい取組みを積極的に実行し、業界トップランナーとしてカーボンニュートラル実現に向け大きく寄与してきました。

これらの取組みのCO<sub>2</sub>削減インパクトを定量的に様々なステークホルダーに示すことで、人々の環境配慮行動を促すとともに、ステークホルダーの皆様と共にカーボンニュートラルの実現に貢献していきたいと考え、このたび削減貢献量を算出しました。

旅客輸送機関別 単位輸送量当たりCO<sub>2</sub>排出量(2021年度)



\*出典：国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」(当社データを除く)  
 ※当社実績は2022年度(実績値四捨五入)

算定した結果、東京メトロ線での輸送は、自動車輸送と比較して、年間約176.9万t-CO<sub>2</sub><sup>※2</sup>の排出を回避できていることがわかりました。この結果は、東京都のCO<sub>2</sub>排出量の3%にあたり、東京メトロが東京都のCO<sub>2</sub>排出削減に大きく寄与していることが分かります。

また、お客様が移動する際、自動車ではなく東京メトロ線を利用することで、1乗車当たり平均約814g-CO<sub>2</sub><sup>※2</sup>のCO<sub>2</sub>削減ができることもわかりました。つまり、東京メトロ線を3回乗車することが杉の木1本分の年間CO<sub>2</sub>吸収量に相当します。

この算定結果を活用しつつ、今後も様々なステークホルダーと連携しながらカーボンニュートラルの実現に向けた様々な取組みを実行していきます。4月以降の代表的な取組みは以下のとおりです。

- ・ 丸ノ内線及び南北線の全ての電力を再生可能エネルギーに置き換え、CO<sub>2</sub> 排出量ゼロで運行
- ・ 東西線の一部電力を実質再生可能エネルギーに置き換え
- ・ 当社及び鉄道全体の環境優位性の認知に向けたPR活動の継続
- ・ ポジティブインパクト(削減貢献量)を活用した需要創出施策及び他企業等との連携
- ・ インターナルカーボンプライシング<sup>※3</sup>の導入
- ・ 東京メトロの環境優位性や環境に関する取組みを体感していただくイベントの開催

今後も東京メトログループでは、CO<sub>2</sub> 排出量の削減に積極的に取り組むことで「安心で、持続可能な社会」の実現を目指して参ります。

※1 WBCSDガイダンスの算定ルールを準用し、KPMGコンサルティング(株)と共同で算定。今後もポジティブインパクトを算定/精緻化する。

※2 2022年度の乗車データから、自動車利用と比較して算定。

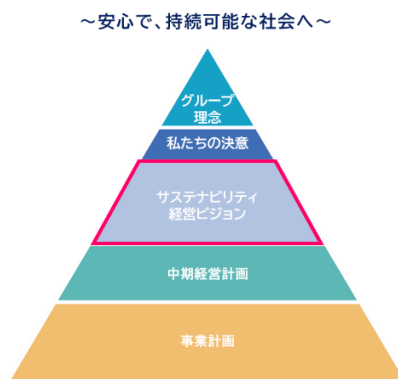
※3 低炭素投資・対策推進に向け、企業内部で独自に設定、使用する炭素価格のこと。企業の低炭素投資・対策を推進するために用いられる。

## 東京メトログループのサステナビリティに係る方針

### サステナビリティ経営

SDGs の目標年次である 2030 年に向けた当社グループの企業経営の思想及びステークホルダーへの提供価値を示したものとして、2020 年 9 月に特定した当社のサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)をもとに、サステナビリティ経営ビジョンを策定し、経営体系に組み込んでいます。

#### 【経営体系】



#### 【サステナビリティ経営ビジョン】

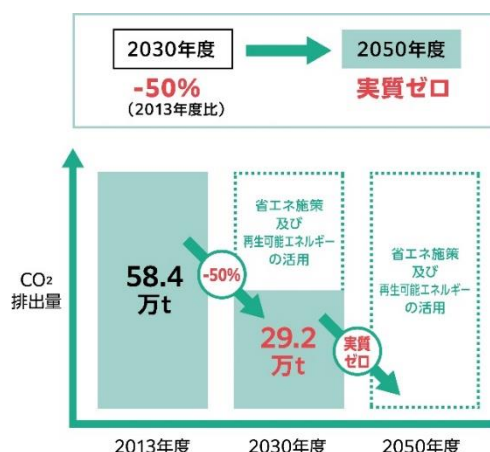
##### 2030年に向けたこれからの東京メトログループ

東京メトログループは、グループ理念「東京を走らせる力」のもと、「安心で、持続可能な社会」の実現に向けて、サステナビリティを経営の中心に据え、5つのテーマに基づく価値を創造し、すべてのステークホルダーから選ばれる企業グループを目指します。

マテリアリティテーマ (提供価値)	Theme1 地下鉄を安全に、 そしてつよく	Theme2 一人ひとりの毎日を 活き活きと	Theme3 東京に多様な 魅力と価値を	Theme4 地球にやさしい メトロに	Theme5 新たな時代を 共に創る力を
マテリアリティ (重要課題)	① 安全・安定輸送の実現 ② 強靱で安心な交通 インフラの構築	③ 移動の安心、 利便性・快適性向上 ④ 多様なライフ・ ワークスタイルへの対応	⑤ 都市・地域の魅力度向上	⑥ 脱炭素・循環型社会の実現 ⑦ 海外への展開・支援	⑧ 技術開発・DX・ パートナーシップの強化 ⑨ 人権の尊重/ダイバーシティ 推進/人財育成 ⑩ ガバナンス強化
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ たゆみなく「安全」の追求のために安全を最優先とし、過去の事故を決して繰り返さないという全従業員の高い決意</li> <li>■ 継続的な改善、設備改良、新技術の導入等による事故の未然防止</li> <li>■ 首都直下地震や激甚化する気象災害に備えたスピード感を持った対策の推進</li> <li>■ 感染症拡大、テロ・サイバー攻撃等の脅威、犯罪等事件などに備えた危機管理機能の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ すべての人に、より安心・快適な移動を提供</li> <li>■ 「my! 東京MaaS」の推進を軸とするモビリティ変革に挑戦</li> <li>■ 社会やライフ・ワークスタイルの変化によって多様化するニーズに対応した事業展開</li> <li>■ 「my! 東京MaaS」の推進とも連携した、一人ひとりが「自分らしく」あるためのサービス提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域に根差した魅力の発信・発信を通じて、「ひと」と「まち」をつなぎ、沿線地域の豊かさを創出</li> <li>■ 多様なパートナーとの連携を通じた、駅・まち一体の調和のとれた空間整備、交通ネットワークの置き込みにより、東京の魅力と価値を共創</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 先端技術や再生可能エネルギーの活用によるCO<sub>2</sub>排出量の削減、資源循環の推進による環境負荷の低減</li> <li>■ 公共交通の利用促進及び環境性能に優れた鉄道技術の国内外への展開</li> <li>■ これまで培ってきた技術やノウハウの海外展開による現地交通サービスの発展支援を通じ、海外各都市の持続可能な発展に貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ あくなく技術力の研鑽、デジタルトランスフォーメーション、パートナーシップの強化による業務の変革と新たな企業価値の創出</li> <li>■ 人権の尊重、ダイバーシティ推進、人財育成、健康経営、働き方改革の推進、労働安全衛生の確保</li> <li>■ 公正な組織統治の着実な実施</li> </ul>

### 東京メトログループ長期環境目標「メトロ CO<sub>2</sub> ゼロ チャレンジ 2050」

東京メトログループ全ての事業における先端技術の採用や改善活動等の創意工夫により、再エネの活用や更なる事業の省エネ化を通じ、東京メトログループ全事業が排出するCO<sub>2</sub>量について「2030年度-50%(2013年度比)、2050年度実質ゼロ」を目指します。



## 環境 PR イベントの開催

東京メトロの環境に関する取組みを認知できるイベント(スタンプラリー、FRY to FLY Project<sup>\*4</sup>イベント)を開催し、利用を促すことでカーボンニュートラル実現に貢献いたします。



※4 FRY to FLY Projectの詳細は <https://www.tokyometro.jp/news/2023/216911.html> をご確認ください。

## 東京メトログループのSDGs(持続可能な開発目標)への貢献について

東京メトログループは、サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)の特定に合わせて、SDGsに掲げられている17の目標、169のターゲットとの関連性を整理しました。引き続きマテリアリティに係る各種施策を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

なお、本リリースの取組みは、主にSDGsにおける目標7番「エネルギーみんなにそしてクリーンに」及び11番「住み続けられるまちづくりを」13番「気候変動に具体的な対策を」に貢献するものと考えています。

東京メトログループのサステナビリティ重要課題とテーマ

<https://www.tokyometro.jp/corporate/csr/materiality.html>

サステナビリティレポート2023

<https://www.tokyometro.jp/corporate/csr/report/index.html>

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



(参考) 脱炭素社会実現に向けた鉄道の環境優位性の理解促進について

一般社団法人日本民営鉄道協会とJRグループ各社では、日本のカーボンニュートラルの実現に向けて、相対的に低炭素な輸送モードである鉄道のさらなる利活用促進(モーダルシフト)をめざすとともに、鉄道の環境優位性に対する社会的な理解促進に取り組むため、共通ロゴマークとスローガンを定め、鉄道業界一丸でPRに取り組んでいます。

Switch!  
SUSTAINABLE  
TRAIN

(共通ロゴマーク)

詳細ページ: <https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2023/22402.html>